

第4学年

総合的な学習の時間

みんなにやさしい町づくり

単元目標

- 身の回りの生活や人々に関心をもち、調べ学習や人との交流を通して分かったことを分類・整理しながら、人々のよりよい環境における課題を見付ける力を育てる。
- 身の回りの生活環境を多様な視点から捉え、みんなにとってよい学校環境の実現に向けて課題を明らかにし、課題を解決していく行動力を育てる。

児童の実態

身近な町にいる人々は、それぞれ困ったことを抱えながら生活していると思い、それを検証し、よりよい町づくりを目指したいという願いをもち、子供たちは、松渓ふれあいの家の利用者や視覚障害者との交流、認知症サポーター養成講座などに取り組んできた。交流や体験を通して、身近な町にいる人々の思いや考え方を知り、自分たちと同じように生活をしていたり町の良さを感じていたりすることに気付き、前向きに生きる人々の生活を理解することができた。自分たちの想像と、交流した方々の思いとの違いに気付いた子供たちは、みんなが同じように前向きに生活をしているのか疑問に思い、本などの資料を参考に、それぞれの生活や思いについての理解を広げた。

一方で、体験や交流、調べ学習を通して分かったことを学習シートに記録することはできるが、交流する際に聞きたい内容や、体験・交流の目的や意図が曖昧なままで、当初の目的であった「私たちにできるよりよい町づくり」の具体的な内容が見えていない児童が多い。今までの学習内容を整理し、目的意識や話を聞く観点を明確にした上で交流や体験を重ね、自分たちにできることはないか考え、行動に移すことが課題となっている。そのため、学習内容を分類・整理することを通して見通しをもち、自ら進んで課題解決に取り組む力を高めたい。

単元観

本単元では、SDGsの目標 10「人や国の不平等をなくそう」、11「住み続けられるまちづくりを」に関連させて、様々な人々との交流を通して、身近な他者の生活や思いを理解し、社会の一員として自分にできることを考え行動する資質・能力の育成を目指していく。学習を始めるにあたり、社会科「住みよいくらし」と関連させ、人々のよりよい生活環境に興味・関心をもち、単元の前半では、高齢者や視覚障害者など、支援の必要な人との交流を通して、人々の生活や思いに対する理解を深めていく。また、交流や調べ学習を通して分かったことを分類・整理することを通して、みんなにとって住みよい環境のイメージを具体的に捉えられるようにする。各自、環境の全体像を捉えた際には、国語科「本で調べて、ほうこくする文章を書こう」と関連させ、みんなの生活や思いについて整理したことをもとに報告書を書き、発表することを通して、互いの考えを共有できるようにしていく。

単元の後半では、今までの学習内容をもとに、みんなにとってよい良い環境を自分たちの手で整えるために、学校をフィールドとしたより良い環境づくりを目指していく。前半の学習活動で見い出した「周りの人のやさしさ」や「(物理的・心理的)バリア」といった人々の生活や思いに含まれる要素が、身近な学校環境にどのような形で存在しているのか検証ていき、その中で自分たちにできることを考え、課題解決のために行動する力を高めていきたい。

平成 29 年 11 月 22 日(水) 第5校時
杉並区立西田小学校 第4学年4組 26名
授業者／望月 悠平

評価規準 (ESD の観点から)

学習過程	観点	評価規準	
課題の設定	身の回りの事象に興味関心を持つ力	① 町の様子を表した絵を見ながら、住みよいくらしについて興味・関心をもつ。 ② 町にはいろいろな人が生活をしており、その人たちの生活について興味・関心をもつ。	⑤ より良い環境について考えたことと、自分たちの普段の生活を比較し、環境を整備する活動に興味・関心をもつ。
	課題を見つける力	③~8 人々との交流を通して、その人の思いや考えに気付く。	⑥ 全校児童に学校生活についてのアンケートを行い、全校児童の思いや考えに気付く。
	課題解決のための計画を立てる力	④-1 体験や交流を振り返り、その人たちの生活や思いについて調べなければ分からぬことを明確にする。	⑦ アンケートから分かった課題に対して、解決するために必要なことを挙げ、計画を立てることができる。
情報の収集	目的に応じて情報を収集する力	④-1 高齢者や視覚障害者などの生活や思いについて、交流や体験だけでは分からなかったことを、資料や本、インターネットを活用して調べることができる。	⑧-(1)(2) 校内で困ったことの原因を明らかにするために、必要な情報を集めることができる。 ⑧-(5) 自分たちの行動による周りの変容に関する結果を収集することができる。
情報の整理	情報を整理する力	④-2 人々が生活をする上で、良い点と困った点をそれぞれ明確にし、分類することができる。また、分類したことをもとに、共通点や相違点を見つけ、人々のよりよい環境について必要な観点を見いだす。 ④-3 ④-2 で整理したことをもとに、周りの人と自分の生活や思いを比較し、みんなにとって良い環境について自分の考えをもつ。	⑧-(3) 調査結果を整理し、自分たちができると考えることができる。 ⑧-(6) 自分たちの行動の成果と課題を明らかにし、それぞれを整理することができる。
行動する	課題解決のために行動する力		⑧-(4) 学校の環境をよりよくするために自分たちにできることに取り組む。
まとめ・表現	わかりやすくまとめ、表現する力	④-4 分類・整理したことをもとに、調べたことをまとめ、自分の考えを発表することができる。	⑧-(7) 自分たちが調べてきたことや実際に取り組んできたことを分かりやすくまとめ、発表することができる。

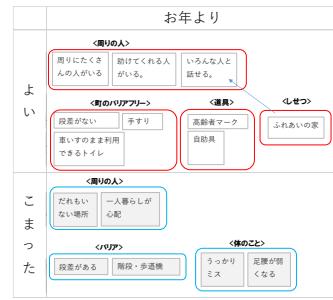
本時の授業デザイン（4/6）

本時の目標

視覚障害者の生活や思いについて聞いたことや調べたことを整理し、高齢者の生活や思いと関連付けながら人々のよりよい環境についての考えをもつことができる。

板書計画

第一回
目の不自由な人の生活や思いについて、聞いたことや調べたことを整理しよう。



評価規準と手立て

<評価規準>情報を整理する力

- 調べたことや聞いたこと、体験を通して分かったことをまなボードに書き出し、それぞれを関連づけながら整理することができる。

<手立て>

◎ 情報を整理し、視覚障害者にとってのよいことやこもったことを明確化したグループ
→ 整理した内容を、高齢者の生活や思いと比較しながら、共通点や相違点を見つけさせる。

○ 情報の整理ができないないグループ

→ 前時に高齢者の生活や思いについて整理した「まなボード」を見ながら、同じような観点で整理できる情報を見つけさせる。

△ グループワークが進まないグループ

→ 一つの例を提示することで整理する方法を知り、他に整理できる情報を見つけさせる。

学習の流れ

①導入

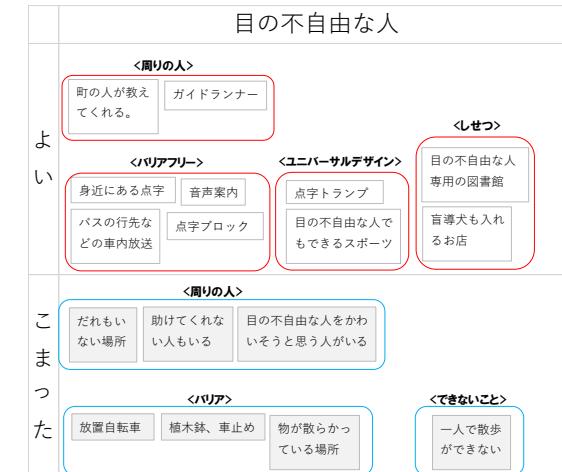
全体で目的を確認する。

- ◆ 学習課題を確認する。
- ◆ 調べたことの整理の仕方を知る。
ピンクの付箋:その人にとって周りのよいこと、助かっていること
水色の付箋:その人にとって困っていること

②展開

調べたことをまなボードに整理する。

- ① 表(まなボード)に整理する。
- ◆ よいことと困ったことに分けて付箋を貼る。
- ◆ 挙がった内容が、それぞれどのようにつながるのか話し合い、整理する。
(例)



② 整理して分かったことをグループで話し合う。

- C: ユニバーサルデザインは、高齢者も視覚障害者も役に立っている。
C: 周りの人が優しいことが、みんなにとってよい環境かもしれない。
C: 認知症の方にも同じことが言えるかな。

今日の学習を振り返り、整理して見つけたことを発表し合う。

- C: よいことや困ったことの中には、みんなに共通することがあった。

次時の学習の見通しをもつ。

- T: 今日考えた環境が、認知症の方にとってもよい環境か考えてみましょう。

③終末

第4学年

総合的な学習の時間

みんなにやさしい町づくり（単元計画／全 55 時間）

平成 29 年 11 月 22 日(水) 第5校時
 杉並区立西田小学校 第4学年4組 26名
授業者／望月 悠平

多様な人々の生活や思いについての理解

課題設定～学びに火をつける～

学習活動①: 昨年度の学習を振り返り、社会科「すみよいくらし」を土台として、今年度の総合的な学習の時間の課題を立てる。(1時間)

みんなにとって住みよい環境を考えよう。

学習活動②: 町にはどんな人がいるか考え、その人たちの住みよいところやこまっているところについて想像する。(1時間)

学習活動③-1: 松溪ふれあいの家に行き、利用者（高齢者）と交流する。(2時間)

学習活動③-2: 国語科「手と心で読む」を読み、視覚障害者の生活や思いについて知る。(1時間)

学習活動③-3: 点字体験を通して、視覚障害者の生活について考える。(2時間)

学習活動③-4: バリアフリー・ユニバーサルデザイン体験学習を通して、みんなにやさしい生活のための工夫について考える。(2時間)

学習活動③-5: 視覚障害者との交流を通して、視覚障害者の生活や思いを知る。(2時間)

【協力: SDD ソリューションズ 佐藤尋宣さん】

学習活動③-6: 認知症センター養成講座を通して、認知症の方の生活や思いについて知る。(2時間)

【協力: ケア 24 南荻窪】

学習活動③-7: 車いす体験を通して、肢体不自由の方の生活や思いについて知る。(2時間)

【協力: ケア 24 南荻窪】

学習活動③-8: 聴覚障害者との交流を通して、視覚障害者の生活や思いを知る。(2時間)

課題設定～学びに火をつける～

情報の収集

～調べる～

学習活動④-1: 今までの体験や交流についてまとめるとともに、それぞれの人の思いや生活について調べる。(4時間)

・お話を聞いた以外に困っていることはないのかな。

情報の整理・分析

～考える～

学習活動④-2: 今まで体験したことや調べたことを整理し、気付いたことをまとめる。(6時間)

本時

学習活動④-3: まとめた内容を、自分たちの生活や思いと比較し、みんなにとってよい環境について考える。(2時間)

まとめ・表現

国語

「本で調べて、ほうこくする文章を書こう」

- 報告書の型を参考に構成を考える。
- 報告書を書く。
- 書いたものを読み返す。

学習活動④-4: みんなにとってのよい環境について考えたことを共有する。(2時間)

- 町のいろいろなところに困っていることがあった。
- お互いに助け合うことが大切なかもしれない。
- 自分たちも考えなければいけないことがあった。

課題設定～学びに火をつける～

学習活動⑤: 自分たちが考えた環境をもとに、西田小学校がみんなにとってよい環境か考える。(1時間)

学習活動⑥: 校内にアンケートを取り、課題を把握する。(3時間)

学習活動⑦: 出てきた課題の中から自分たちにできることを考え、グループごとに課題解決のための活動計画を立てる。(2時間)

情報の収集～調べる～

情報の整理・分析～考える～

～行動する～

学習活動⑧: 活動計画に沿って、課題解決に取り組む。(16時間)

グループ活動（例）

(1) どうして廊下を走る子がいなくならないのか、原因を考える。 → (3) 調査結果を整理し、原因や課題を明らかにする。 → (4) 自分たちにできることを考え、行動する（呼びかける）。

(2) それぞれの児童が自分の生活を振り返るために、アンケート調査を行う。

(5) 結果を確かめる。 → (6) 自分たちの行動の成果と課題を明らかにする。 → (7) 取り組みの成果と課題をまとめ、ESD子供報告会で伝える。

学習活動⑨: 1年間の学習を振り返る。(1時間)

ESD カレンダー

教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語		新聞を作ろう		自分の考えを伝えるには		だれもが関わり合えるように～手と心で読む～					わたしの研究レポート	十年後のわたしへ
算数		折れ線グラフ		がい数			整理のしかた					
理科	季節と生き物（春）		季節と生き物（夏）			季節と生き物（夏の終わり）	季節と生き物（秋）			季節と生き物（冬）		自然の中の水
社会	くらしをささえる水	ごみのしまつと再利用				わたしたちの東京都						
特活												
総合	みんなにやさしい町づくり									1/2 成人式		
道徳	あしたにトライ 勤勉・努力	心を結ぶ1本のロープ 思いやり・親切				何かがちがう 思いやり・親切		ぼくのちかい 思いやり・親切				
音楽												
図工												
体育						オリンピック・パラリンピック教育						育ちゆく 体とわたし
行事							社会科見学 (ガステナーに？・虹の下水道館)					